



2020年5月12日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社  
代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO） サラ L. カサノバ  
（コード番号：2702 JASDAQ）  
問い合わせ先 執行役員 IR統括責任者 中澤 啓二  
TEL 03-6911-6000

## 2020年12月期第1四半期連結決算状況のお知らせ

日本マクドナルドホールディングス株式会社の2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の第1四半期期間（2020年1月1日～2020年3月31日）の連結業績につきまして、下記の通りご報告致します。

### ハイライト

- 売上高は対前年同期比で増加。既存店売上高は18四半期連続でプラスを継続
- 利益は中長期的な成長を目的としてマーケティング活動、店舗と人材へ積極的な投資を行った結果、前年同期比で減益となるが、営業利益率、経常利益率共に年初想定通り10%を確保。
- 今後も新型コロナウイルスの影響を注視し、お客様、従業員の安全を最優先して感染症感染拡大を抑制する取組を継続するとともに、政府や自治体の方針や発表に適切な対応を実施する。

（単位：百万円）

	2020年第1四半期			
	実績	前年同期実績	前年同期比	前年同期比(%)
全店売上高 *	141,890	134,043	+7,847	+5.9%
連結売上高	72,286	68,884	+3,401	+4.9%
連結営業利益	7,708	8,396	-687	-8.2%
連結経常利益	7,426	8,665	-1,239	-14.3%
親会社株主に帰属する 連結四半期純利益	4,713	5,535	-821	-14.8%

\*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

### 2020年第1四半期 前年同期比(%)

全店売上高	既存店売上高	既存店客数	既存店客単価
+5.9%	+5.3%	+0.5%	+4.7%

2020年第1四半期は全店売上高が前年同期比78億円、5.9%増加の1,418億円となりました。中長期的な成長を目的としてマーケティング活動、店舗と人材へ積極的な投資を行った結果、営業利益は77億円、前年同期比6億円減少となりましたが、年初の想定通りで営業利益率10.7%を確保いたしました。

新型コロナウイルスの業績に与える影響は当四半期におきましては限定的でした。

第二四半期以降も、お客様、従業員をはじめ全ての皆様の安全を最優先に、全国の店舗で実施している感染症感染拡大を抑制するための取り組みを継続するとともに、政府や自治体の方針や発表を注視し、健全な店舗運営を行ってまいります。

以上

## 2020年の取り組み 第1四半期進捗状況

### 未来型店舗体験

- ・1月 モバイルオーダー全国展開完了
- ・3月 モバイルオーダーと公式アプリを統合し、利便性の更なる向上を実現

### デリバリー

- ・マックデリバリーサービス (MDS) 実施店舗 331店舗 (2019年末比 +73店舗)
- ・Uber Eats 実施店舗 641店舗 (2019年末比 +37店舗)
- ・重複を除く デリバリーサービス実施店舗 計781店舗 (2019年末比 +72店舗)
- ・デリバリーのご利用は着実に増加

### 店舗展開

- ・新規出店 4店舗、閉店 8店舗、改装 15店舗
- ・通期では10~20店舗の純増を目指す

### ピープル

- ・人材の採用と育成に積極的な投資を実施

2020年3月末現在

## 財務サマリー

### 売上高：722億円、前年同期比+4.9%

ごはんバーガーに代表されるおいしいメニュー、様々なシチュエーションに合わせて手軽にお選び頂ける「ちよいマック」を始めとするバリュー、そして便利で快適な店舗体験をご提供させて頂くと共に効果的なマーケティング活動を行ったことにより、売り上げは順調に増加致しました。

- 全店売上高：1418億円、前年同期比+5.9%
- 既存店売上高：+5.3%

### 売上総利益：143億円、前年同期比5億円減少、売上総利益率19.9%

継続的な成長を目指し、店舗と人材への投資を強化致しました。

### 一般管理販売費：66億円、前年同期比1億円の増加、売上比9.2%

マクドナルドの強みであるメニューやバリューに関するコミュニケーションを強化するため、TV CMを始めとしたマーケティング活動に積極的な投資を行った結果、広告宣伝費、販売促進費は4億円増加の20億円、人件費、経費は3億円減少の46億円となりました。

### 営業利益：77億円、前年同期比6億円減少、8.2%減少、営業利益率：10.7%

2020年12月期営業利益見通し、290億円に対する進捗率は、約27%で想定通りです。

## 新型コロナウイルスへの取り組みと影響

日本マクドナルドは、お客様、従業員をはじめ全ての皆様の安全を最優先し、新型コロナウイルス感染の拡大を抑制するため、様々な取り組みを行っております。今後も飲食店としてお客様に温かいお食事をご提供する社会的役割を果たしつつ、全ての皆さまの安全、安心のための取り組みを進めてまいります。

### 感染拡大防止の取り組み

- 全店舗での「終日店内客席ご利用中止」
- 店舗社員、クルーの健康チェックや手洗いの徹底
- クルーのマスク着用ルールの変更・強化
- 「マックアドベンチャー」などの店内での各種イベントの中止と「プレイランド」の一時閉鎖
- 店内のアルコール消毒液の設置
- 店舗や公式サイトにおける「マクドナルドの衛生管理」のご紹介
- マックデリバリー「非接触デリバリーサービス」の実施

### 今後の見通し

新型コロナウイルスの業績に与える影響は、当四半期においては限定的でした。しかし4月以降は店舗運営面において影響が出ております。ドライブスルーやデリバリーのご利用が増加傾向にあり、4月後半からは客席のご利用を中止させていただいております。今後も状況を注視し、お客様、従業員の安全を最優先した取り組みを行ってまいります。現段階では、2020年の業績見通しの修正はございませんが、経営環境の変化に応じて適切に開示いたします。

※この資料は兜倶楽部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。